

水戸市・学校法人梅村学園中京大学学官連携事業

# 歴史講演会

開催日：2016年**11月12日**(土)

時間：13:30～15:00(13:00開場)

会場：水戸市総合教育研究所3階  
視聴覚ホール(水戸市笠原町978-5)

入場料：無料(事前申込不要)



—水戸から名古屋へつないだ学びの心—

# 文<sup>ぶん</sup> 武<sup>ぶ</sup> 不<sup>ふ</sup> 岐<sup>き</sup>

主催：水戸市 水戸市教育委員会 学校法人梅村学園中京大学



梅村学園（愛知県名古屋市）は中京大学や中京大学附属中京高等学校等を擁し、室伏広治さん、浅田真央さん、寺本明日香さんなど、世界で活躍するスポーツ選手を多数輩出していることで有名ですが、実は水戸と深いつながりがあります。

学園創立者の梅村清光氏は、明治15（1882）年に旧水戸藩士・梅村清瀾の子息として水戸に生まれました。清光氏は中京商業学校（中京大学附属中京高等学校の前身）を開設するにあたり、生まれ故郷である水戸の藩校・弘道館の建学の精神の一つ「文武不岐」を受け継ぎ、「真剣味」（学力「真」、体力「剣」、人間力「味」のバランスのとれた人間形成をめざす）を校訓に掲げました。その後、長男の清明氏が中京大学を開学し、校訓も引き継がれて現在に至っています。

こうして水戸藩の学びの心は、水戸から名古屋へとつながっていったのです。

今回の歴史講演会は、平成35（2023）年に学園創立100年を迎える中京大学と水戸市との歴史的つながりを振り返るとともに、その絆を深めていくことを記念し、学官連携事業として開催するものです。

## 内 容（予定）

講演 1 梅村学園総長・理事長 梅村清英氏

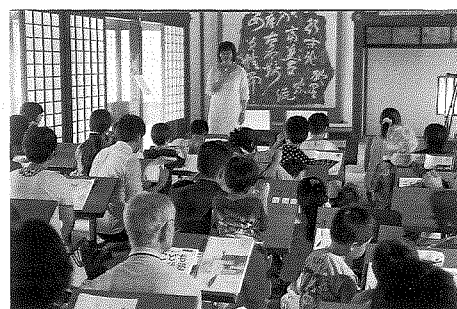
「水戸から名古屋へ、そして世界へ」

（概要）梅村学園（中京大学・中京大学附属中京高校 他）は、水戸の学びの精神を受け継ぎ、学術、スポーツの殿堂たるべく、約1世紀にわたり教育活動を実践してきました。今回は、水戸と中京大学の絆の歴史と、世界に羽ばたく中京大学の現在についてお話しします。

講演 2 中京大学文学部歴史文化学科准教授 白根孝胤氏

「写真史料が語る幕末・明治の情景」

（概要）幕末から明治という変革期に撮影された写真史料を通して、幕末維新の歴史的舞台や、江戸時代の原風景と近代化が混在する様子など、激動の時代の様々な情景を探ります。



## プロフィール

梅村 清英 氏

梅村学園総長・理事長。名古屋市出身。1991年中京大学経済学部卒業。同大学院経済学研究科博士課程修了、博士（経済学）の学位取得。専門は国際貿易論。1996年中京大学経済学部講師、助教授を経て、2006年教授。この間、梅村学園の評議員、理事を歴任し、中京大学長期計画「NEXT10」策定委員会委員長として取りまとめに尽力した。2013年10月より理事長就任。2016年4月より梅村学園総長を兼務。中部経済同友会幹事、愛知県経営者協会理事、愛知県私立大学協会副会長、愛知県警察官友の会理事。

白根 孝胤 氏

中京大学文学部歴史文化学科准教授。東京都出身。専門は日本近世史。260余年の長期にわたって平和な時代（江戸時代）を構築した幕藩体制の構造について、特に徳川将軍家と大名家との関係（幕藩関係）や尾張藩政史の展開をテーマに研究を行っている。近年は諸大名の屋敷・庭園における饗応・交流の実態や尾張徳川家第十四代当主徳川慶勝が撮影した幕末・明治期の写真の分析など、文化史・生活史の側面からも研究に取り組んでいる。

## 問い合わせ

○水戸市：水戸市笠原町978-5 水戸市教育委員会事務局教育部歴史文化財課 029-306-8132

○中京大学：名古屋市昭和区八事本町101-2 学校法人梅村学園中京大学学園事業推進部 052-835-7439